



今年の夏休みは あっという間に終わってしまいました
 今年は お出かけ企画やプールが中止になってしまい おやつ作りや 水遊びをして過ごしました
 猛暑のなか 大人でも辛い時期に「手洗い、手洗い」「マスクしないと！」と 自分に声を掛けている
 COCOのお友だちがいたり 今年の七夕の短冊には「コロナが早くいなくなりませうように・・・」と
 書いているお友だちがいました
 早く 子どもたちが マスクを外して 自由にお出かけしたり 思い切り遊べる日が来てほしいなあ
 と心から願っております 大変な状況ではありますが そんななかでも 頑張っている子どもたちに
 寄り添いながら 2学期も 一緒に過ごしていきたいと 思います よろしくお願ひいたします



ココ
 放課後等デイサービス (中高生)

岡本 しのぶ



今年度の職員新体制になってから初めての夏休みでした。例年とは違い短期間で、さらに酷暑という環境
 の中、安全に楽しくお子さまたちに 1日過ごしていただけたと思います。秋から新施設での活動となりま
 すが、よりお子さまたちにとって満足していただけるように支援させていただきます。どうぞよろしくお
 願ひ致します。 高森 絵斗

どんぶり
 放課後等デイサービス (小学生)

夏休みは室内で夏祭り気分を感じながら、夏をおもいきり楽しんでいきましたー!!!
 大スクリーンでの花火鑑賞会や『ホットプレート de 屋台』をコンセプトに、ミニピザや
 クレープなどの屋台メニューのクッキングをホットプレートで行っていきました。
 みんなでワイワイ楽しくおいしく、いろいろな屋台メニューを味わうことができました。
 また夏休みの工作では、不思議な紙粘土の感触を楽しみながら、アイスクリーム風の写真
 立て作りをしていきました。みんなで楽しく一生懸命に作った写真立ては、とってもおい
 しそうでステキなものとなりました。今年の夏休みは感染予防の観点から、お出かける
 などがなかなか難しく、できることが限られていたのですが、今年はいつもとは違う特別な
 夏休みをお友達やスタッフと一緒に笑顔いっぱい過ごすことができました。
 少し肌寒くなり、季節はすっかり秋となりましたが、これから秋の季節感を大切に
 いきながら、ひかりのみんなで元気に楽しく過ごしていきたいと思ひます。 加藤 花



ひかり
 放課後等デイサービス (重度心身)

いえ にゅーす ニュース
 どうぼろの家
 まかりおん
 makarion

発行 社会福祉法人 同胞会 同胞の家
 発行責任者 石崎 香子
 編集 マカリオン編集委員会
 〒611-0042 宇治市小倉町西山44-4
 TEL (0774) 20-4080/FAX (0774) 20-2230
 E-mail info@douhounoie.jp
 URL http://www.douhounoie.jp

かんしゃ ちゅうし
 ~感謝のつどい~ 中止に!!
 同胞の家 後援会 会長 長谷川 雅也

今年度、第21回同胞の家つどいを10月25日予定しておりました。
 同胞の家は平成2年、小倉町西山に創立されました。そして10年後の平成12年に後援会が発足いたしました。
 後援会発足後、その年から毎年、毎年”つどい”を開催してきました。それは、同胞の家の趣旨・目的に沿ったことを
 知ってもらえるため、同時に「つどい」を通じて、地域のみなさま方に理解を願う立場から同胞の家と地域との交流の場
 とする。常々、地域のみなさま方に「感謝」また、活動を理解していただくことを目的に過去20回開催させていただき
 ました。ところが、今年(令和2年)に入ってまもなく、思わぬ事態に、みなさまご存じのように、新型コロナウイルス
 が蔓延し瞬く間に世界全体に広がり猛威を振るうようになりました。まだ、日本は他国に比べれば救われる面もあります
 が、東京を中心に関東、北海道、大阪を中心に関西、九州に感染者が多いところ、京都府は47都道府県中10番目に多
 く発症しています。内、宇治市は京都市につく多さです。こうした状況の中、「つどい」を実施するには何ヶ月も前から
 準備委員会を立ち上げ、仕事をもちながらの委員長を毎年新たな人を選出、準備をする必要があります。日常の業務に支
 障を来すことは絶対に避けなければなりません。この状況下で業務に追われ時間的に余裕が生まれてこない中、毎年お世
 話をされている委員会の方は誠に残念な思い、意に添わないところがあったと思ひます。苦渋の選択をされました。今年
 度は見送りをさせていただくことになりました。

ちなみに、総会も開催できず、書面でもってお伝えさせていただく形になりました。今年度も引き続き役員になってい
 ただいた方、新たにお世話になる方に大変なご迷惑をおかけしたことに対しお詫びを申し上げます。これから先、何か
 ございましたらご相談させていただく所存ですのでその節はなにとぞよろしくお願い申し上げます。
 ご案内のように、同胞会同胞の家は小倉町西山の同胞の家から、イサク事業所、ホテル事業所、コヘルト事業所法人本
 部のあきおと1カ所Noa-cube横に施設を予定、グループホーム建設等、どれもこれも利用者にも便利、快適に
 過ごしていただけるよう考えておられるところです。なお、本部と事業所を市道を出なくして往来できるよう橋を架
 けることも進めておられます。いずれにいたしましても真っ先に利用される方々を中心に、初代佐藤剛施設長、現理事の
 二代目大森健三施設長、三代目石崎香子現施設長を先頭に全職員の多くのみなさま、パイタリティあふれる若き職員のみ
 なさまが、常に前に向かって障害者施設として可能な限りの努力を払っておられます。これが行政からも高い評価をいた
 だいておられる証と存じます。そういった状況の中、後援会といたしましても役員のみなさまと相談しながらお手伝い
 できるよう今後も歩んでいきたいと思ひます。その節はどうぞご協力 賜りますようよろしくお願いいたします。
 来年の「つどい」は今までどおり開催でき、コミュニケーションが図れますよう、また、みなさまに楽しんでいただ
 けますよう企画してまいりたいと思ひますのでお待ちいただければ幸いです。

どうほうの家



今年はコロナウイルス感染対策の為マスクを着用しての夏となりました。そんな中“らぶ”では、夏の暑さを乗り切るため、同胞裏の屋根の下で、プールを用いて水遊びを行いました。コロナウイルス対策・熱中症対策をしながらも、外で楽しく遊びたいというみんなの思いがあり実施しました！頭から水を浴び、びしょ濡れになって楽しむ方や、歌を歌いながらゆっくりと水に足を付ける方など、楽しみ方は人それぞれです♪このような状況の中でも、らぶの皆さんは元気いっぱい笑顔を見せて、毎日過ごされています。 安田 ちひろ



イサク事業所



感染症対策・今夏の暑さ対策を徹底しながら、畑の整備やお花の収穫、旬の駅の納品作業などに取り組みました。利用者さん一人ひとりの持てる力を最大限発揮できるように、これからも色々なことに挑戦していきたいと思っております。 岩永 亮太郎



安全に配慮した(?) 偽スイカと椅子を使った偽スイカ割り。そしたら偽スイカにみんなの気持ちが入って本物に!? 電気を消してスクリーンで花火大会を見ながらスイカを食べ、真夏の縁香花火。どんな状況でも楽しむ心を大切に、夏を過ごします。 岡本 健佑



コロナの影響でランチ営業を自粛しており、7月末よりテイクアウトのみの販売形式で営業していました。9/14(月)より感染対策を行いながらランチの営業を再開しています。加えて隣の直売所でも利用者さんと仕込みを行いながら商品販売を継続しています。『予防・衛生』を徹底して困難な状況の中ですがわたしたちができる商品づくりに向き合っており、継続していきけるように頑張ります!!



大森 真帆



ベテル事業所

たいじゅでは、コロナウイルス拡大防止の為、現在も各居室にて過ごしていただいております。4月～6月までの自粛期間中には、作業所への通所も自粛し、たいじゅにて、利用者と支援者マンツーマンでの個別支援を行いました。一緒に居室のお掃除をしたり、近くの自動販売機までジュースを買いに行きました。コロナウイルスにより、様々なことが制限され、思い通りにならない生活が続いていますが、利用者さんにとって窮屈な生活にならないよう、工夫していきたいと思っております。 川下 梨恵



Noa-cube



今年も厳しい暑さが続きました。外にいると噴き出すような汗が出て、息苦しさを感ずるほどの日もあります。そのような中でも、私たちは利用者さんと共に毎日楽しく、心地よく過ごしていきたいと願っています。この度、ARKではうだるような暑さの中、バーベキューを開催致しました。デザートにはかき氷まで♪炭火で焼いたお肉も美味しかったです。食後のかき氷は格別の美味しさでした!! コロナ禍での残暑を、楽しく乗り切っています。 木村 陽子

